評価者 都市整備部 樋田 浩一

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の 位置付け	分野 下水道・河川 施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理			
目標とすべきま	ちの姿	波遡上対策により、津波被	害がほとんど針	D濫することなく市民は安全に生活しています。また、河川津 8生しない状況となっています。 場となっており、景観にも配慮した観光都市にふさわしい水辺

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

(1) REFERENCE (F. F. F									
取組を知らない・ わからないと答えた人の	令和元年度 (2019年度) 23.0%		平成30年度 (2018年度) 27.6%		平成29年度 (2017年度)	26.2%			
割合	平成28年度 (2016年度)	23.6%	平成27年度 (2015年度)	27.8%					

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

仕		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の	必要以上 の効果	0.5%	0.5%	0.6%
効果	ちょうど よい	0.8%	52.3%	1.6%
木	効果不十 分	1.0%	3.2%	10.7%

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

±		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
ェ 事 の	必要以上 の効果	0.7%	0.3%	0.5%
が対果	ちょうど よい	1.7%	48.8%	0.8%
ҡ	効果 不十分	1.7%	2.3%	10.9%

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

_		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
± ₽	必要以上 の効果	0.5%	0.7%	0.0%
カート	ちょうど よい	1.1%	53.3%	0.2%
K	効果不十 分	1.2%	2.6%	9.5%

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

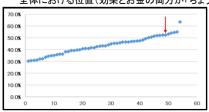
4		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕 事 の	必要以上 の効果	0.5%	0.9%	0.2%
効果	ちょうど よい	1.4%	55.2%	0.7%
*	効果 不十分	1.1%	3.4%	8.0%

平成27年度(2015年度)

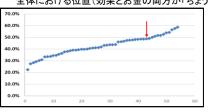
お金の使い方

4		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の	必要以上 の効果	0.6%	0.9%	0.1%
効果	ちょうど よい	0.7%	53.2%	1.1%
*	効果 不十分	0.7%	2.3%	6.7%

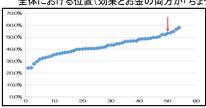
全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



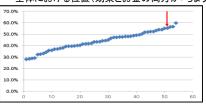
全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



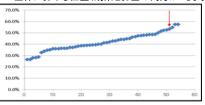
全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

(0) / (C) /				
	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	21.3%	48.3%	1.1%	29.3%
平成30年度(2018年度)	18.2%	48.3%	1.3%	32.2%
平成29年度(2017年度)	16.3%	51.0%	1.4%	31.3%
平成28年度(2016年度)	13.9%	56.5%	1.1%	28.6%
平成27年度(2015年度)	14.4%	50.9%	1.4%	33.2%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①河川管理施設の維持修繕業務や維持修繕工事については、適切かつ的確に実施する。(都整-34、35)
- ②普通河川、準用河川及び雨水調整池のしゅんせつについては、費用対効果を考慮して計画的に実施し、施設機能の確保を 図る。また、定期点検結果を基に適切な時期に実施するなど維持管理に努める。(都整-34、35)
- ③老朽化の進行が懸念される河川・蓋掛け水路・調整池等の効率的な維持管理のため、平成30年度施設調査の結果を踏ま え、詳細調査を実施する。(都整-34)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

①②河川施設の維持修繕業務、維持修繕工事や、普通河川、準用河川及び雨水調整池のしゅんせつは、安全な市民生活を 保つ。(都整-34.35)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

(0) 7.	(0) 学术时间相关 克孜(侧角(1)6至点学术/								
評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)			今後 方向	ŧの]性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)		令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)	法定受託 事務	事業内容	予算規模	
都整-10	河川管理運営事業	1,474	1,489	0.6	0.6	無	b	В	
都整-34	河川維持補修事業	81,956	55,461	1.0	1.0	無	b	А	
都整-35	雨水施設維持管理事業	3,425	3,783	0.3	0.3	無	b	А	

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

- ①普通河川滝ノ川等の維持修繕業務を実施した(都整-34) ②準用河川小袋谷川等のしゅんせつを実施した。また、機器が良好に作動するよう適正な維持管理に努めた(都整-34、35)
- ③老朽化の進行が懸念される河川の効率的な維持管理のために、詳細調査を実施した。(都整-34)

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

(0) [3]	176十支(2010十支/07块位分計画		
効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか ■	適切	要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	適切	要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	適切	要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか ■	適切	要改善
・迅速な対 ・河川管理 雨水調整池	西の理由、改善を要する点の具体的内容等> 応を図るため、河川維持管理協力団体及び市職員による定期的な巡回を実施した。(都整-34、3 施設の維持修繕業務等については、安全性を考慮しつつ、低廉な工法を選定し実施した。(都整 也やゲートの類等の雨水排水施設について定期点検及び自主点検を行い良好な状態を保持した 及び調整池のしゅんせつを行い良好な状態を保持した。(都整-34、35)	2 −34、3)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号 都整-34 事業名 河川補修事業									
<mark>指標の内容</mark> 準用河川の修繕					単位		票の	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)		
準用河川において継続的な修繕が必	目標値	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0		
要なため。	実績値	23.0	27.0	15.2	0.0	91.4	0.0		
	達成率	65.7%	77.1%	43.4%	0.0%	261.1%	0.0%		
整理番号 都整-35 事業名 雨水施設維持管理事業									
指標の内容 ゲート類の点検					単 位		票の	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)		
浸水対策としてゲート類の良好な機能	目標値	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0		
維持が必要なため。	実績値	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
整理番号 都整-35 事業名 雨水施設維持管理事業									
指標の内容 雨水調整池の浚渫					単 位		票の in ⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)		
浸水対策として雨水調整池の浚渫は	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
継続的な対応が必要なため。	実績値	1.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	達成率	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		